

第1学年B組 算数科学習指導案

授業者
研究協力者

猿田 千穂子
加藤 慎一

1 単元名 さんすうたんけんたい ～くらべかた～

2 子どもと単元

(1) 子どもについて

子どもたちは、幼稚園での活動や学校生活の中で、「鉛筆が短くなった」「グラウンドは広い」など長さ、かさ、広さといった量を比べる経験をしてきている。また、生活科の「なつをたのしもう」では、学習の中で量の大小を感覚的に捉え水遊びをしながら、ペットボトルに入る水の量を比べたり、七夕の飾りを作りながら飾りの長さや大きさを比べたりしていた。さらに、算数科の「かたちあそび」の学習では、どのグループが一番高く箱を積み上げられるかを比べる際、別々の場所に置いてある物は正確には比べられず、近くに並べて比べるとよいという直接比較につながる気付きもあった。その一方で、量の大きさを表現する言葉が曖昧で、長さ、広さ、高さやかさなど、どの量についても「大きい」「小さい」という表現になり、まだ量の概念が明確になっていない子どももいる。

本学級の子どもたちは、1年生という発達段階もあり、自分の考えを聞いて欲しいという意欲が高い。特に自分の発見や不思議に思ったことなどは、みんなに伝えたいという子どもが多い。しかし、思いが強いだけに、学習中も全体の場でみんなが分かっていようがいまいが関係なく話し続け、相手に伝わるように話すという姿はあまり見られない。

そこで、比べるという概念を習得する学習の中で、具体的な場面と関連付けたり、図を描いたりするなどしながら、相手に分かりやすく伝えようと工夫する姿を目指したい。

(2) 単元について

本単元では、子どもたちが無意識に捉えたり、感覚的に捉えたりしている量の中に、「長さ・かさ・広さ」など様々な量があることに気付き、量の概念を明らかにしていく。一つの箱でも、辺に着目すれば「長さ」、面に着目すれば「広さ」、内容量に着目すれば「かさ」など異なる量がある。一つのものを見ても、視点が違うと、比べている量が違ってくる面白さに気付くことができる。さらに量を比べる方法も、直接比較、間接比較、任意単位を用いた比較の方法がある。ものの特徴や条件に着目して、どの方法で比べることが目的にあっているかを考える。例えば、2つのもののどちらが長いかを知りたい場合は、直接比較が適している。しかし、かさの比較になった場合に、高さに目を付けて水筒の量を比べても、水筒が高い方が量が多いとは限らない。水筒を1次元で捉えるのか、3次元で捉えるのか、数学的な見方・考え方の面白さが広がる。さらに、論理的に説明することができるようになるという観点からしても、比べるという自分が見付けた算数の面白さを、具体物を操作したり、図を描いたりするなど、1年生なりに論理的に相手に分かりやすく説明する姿を引き出すことができると考える。

(3) 指導について

本単元では、身の回りのものの特徴の中で、比べたい量に着目し、身の回りのものを直接比べたり、媒介物を用いて間接的に比べたり、ある大きさを単位としてそのいくつ分かで数値化したりするなどして、比べ方を考えるという資質・能力を高めることを目指す。

授業デザインの取組一つ目との関連から、子どもたちが大きさをどのように捉えているのかを確認するために、いろいろなものの大きさを比べる（長さ、かさ、広さなど）「くらべっこクイズ」を解く学習活動を設定する。着目する点を変えると大小が変わってくるクイズも用意し、生活経験から感覚的に捉えている量の概念を浮き彫りにしたい。また、最初は、教師が作ったクイズを解いていくが、自分の数学的な見方・考え方が広がることで、今度は自分が作る楽しみ、さらにクイズの難易度を上げて作る面白さに気付く子どもの姿を引き出したい。そのためにも、ただクイズを解くだけでなく、クイズの解き方を説明するシートを作る活動も設定し、説明の中に出てくる数学的な見方・考え方をピックアップして掲示していく。

授業デザインの取組二つ目との関連から、「自分の興味があるクイズから解いてもよい、作りたくなったら作ってもよい」という学習の形にし、学習の流れに柔軟さを設ける。これまでであれば「長さ、かさ、広さ」という順番で学習を進める過程となっていたが、本単元では敢えて子どもたちが経験して着眼している比べる要素から自分自身で学習に向かう対象を選択できるようにする。バラバラの着眼点で学習することで学習が一気に広がり収集がつかなくなることも予想されるが、学習が広がることで思考を深める子どももいれば一つの要素を追究することで思考を深める子どももいる。課題解決の幅を広げることをねらいたい。

3 単元の目標（記号は本校の資質・能力表による）

- (1) 長さ、かさ、広さなどの量を具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすることができる。また、身の回りにあるものの大きさを単位として、そのいくつ分で大きさを比べることができる。
（C-1, 2）
- (2) 身の回りのものの特徴に着目して量の大きさの比べ方を考えることができる。（C-3, C-18）
- (3) 身の回りにあるものの量に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする。
（イ、ウ）

4 単元の構想（総時数9時間）

生活科や今までの生活経験から

使うと減る、たすと増える、広げると大きくなるなど、学習したりや生活の中で遊んだりする中で長さ、かさ、広さの量の多少を経験したり、感覚的に捉えたりする。

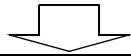
本単元

時間	学習活動 (・は予想される子どもの姿)	教師の主な支援	評価 (本校の資質・能力との関連)
1	(1) 生活の中にある比べることに関して見付けたことを発表し合う。	・比べることに対する興味・関心をもてるように「かたちあそび」の学習で積み上げてできたタワーの高さを比べたことを想起しながら、生活科や学校生活などで経験している比べることについて話し合う場を設定する。	・身の回りにあるものの量（長さ、かさ、広さなど）について関心をもっている。〈イ、ウ〉
2	(2) さんすうたんけんたい「くらべかた」の学習計画を立てる。	・長さ、かさや広さなどの量を比べる方法について学習する意義を見いだせるように、今まで学習してきたさんすうたんけんたいのクイズの種類を増やそうという目標を設定する。	・さんすうたんけんたいの学習を継続していくこくという意欲を高めている。〈ウ〉
単元を貫く目標			さんすうたんけんたい～くらべっこクイズをつくろう！！～
3 本時	(3) いろいろなものの長さ、かさ、広さを比べる。 ・鉛筆はすぐに、どちらが長いか分かったよ。 ▲絵にある鉛筆の長さは、分かりにくいいな。見た感じは、赤鉛筆かな? ▲タオルはたてに置いたり、横に置いたりするとどちらが広いか分かりにくいいな。角を揃えてみようかな。 ・色水はこのままでは比べられないな。どうしたらいいかな。 ・ぼくもクイズを作ってみよう。	・子どもたちが自分の興味・関心を生かし学習を進めることができるよう、いろいろなものの大きさを比べる（長さ、かさ、広さなど）クイズを用意する。 ・直接比較、間接比較や任意単位での比較など、数学的な見方・考え方を引き出すことができるよう、どこを比べるのかによって大きさが違うクイズを用意し比べる着眼点の面白さを引き出す。	・身の回りのものの特徴の中で比べたい量（長さ、かさ、広さ）に着目し、直接比べたり、間接的に比べたり、ある大きさを単位としていくつ分で表すなど、比べ方を考えている。〈イ、ウ、C-18〉
4 5 6 7 8	(4) 長さ、かさや広さのクイズを解き、説明シートを作る。（直接比較） (5) 長さ、かさや広さのクイズを解き、説明シートを作る。（間接比較） (6) 長さ、かさや広さのクイズをクイズを解き、説明シートを作る。（任意単位による比較） ・どれだけ多いか比べる時は、同じコップを使って、いくつ分で表したよ。 ・自分の手を使って比べることもできたね。 ・比べるものによって、比べる方法が違うことが分かったよ。 ・自分でも難しいクイズを作ってみたいな。	・数学的な見方・考え方を全体で共有することができるよう学習の始めに、共通のクイズを解き、その解き方を説明し合う場を設定する。 ・自分のペースで学習が進められるよう、全体で比べ方を共有した後は、個々で取り組みたいクイズに挑戦したり、自分でクイズを作ったりするなど、学び方を選択できるようにする。 ・子どもたちが蓄積した数学的な見方・考え方を共有できるよう動画や写真、掲示コーナーなど振り返りの場をいくつか設定する。また、自分にあった振り返りの方法を選択するように促す。	・長さ、かさの意味を理解し、長さ、かさ、広さの直接比較による比べ方を理解している。〈C-1〉 ・長さ、かさや広さを間接比較による比べ方を理解している。〈C-1〉 ・長さ、かさや広さについて、ある大きさを単位とし、そのいくつ分かで数値化して比べることを理解している。〈C-2〉
9	・みんなで作ったくらべっこクイズに挑戦したり、学習のまとめをしたりする。	・友達のクイズを解いたり自分が作ったクイズを説明したり、毎時間蓄積した学び（クイズの解き方を説明したシートや振り返り）を振り返って新聞を作ったりする場を設け、学習のまとめにつなげる。	・身の回りにあるものの量に関心をもち、量の大きさを比べるときに必要な考えを主体的にまとめている。〈C-1、2、3、18、イ、ウ〉

◎本単元で育む主な資質・能力

身の回りのものを直接比べたり、媒介物を用いて間接的に比べたり、ある大きさを単位としてそのいくつ分かで数値化したりするなどして、比べ方を考える。

(C-1、2、18)



2年 長さ

長さの単位 (cm、mm) について知り、測定の意味を理解し、身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりできる。

4 本時の実際（3／9）

(1) ねらい 身の回りのものの特徴の中で比べたい量（長さ、かさ、広さ）に着目し、クイズを解く活動を通して、直接比べたり、間接的に比べたり、ある大きさを単位としていくつ分で表すなど、比べ方を考えている。
〈イ、ウ、C-18〉

(2) 展開

○自律的に学習を進めるための支援

時間	学習活動	教師の支援 評価
2分	<p>① さんすうたんけんたいの学習計画を確かめ、今日の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> めあて くらべっこクイズをしよう </div> <p>〈予想される子どもの反応〉 • どんなクイズかな? • きっとすぐ解けるよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画を確かめ、意欲付けをする。
3分	<p>② どんなクイズがありそうか予想する。 • えんぴつ長さ比べ 色水どちらが多い</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちがどのような大きさ比べをイメージしているのかを全体で共有することで、比べるときの見方・考え方のヒントになるように、クイズを予想する時間を設ける。
25分	<p>③ くらべっこクイズをする。</p> <p>〈予想される子どもの反応〉 【長さのクイズを解く】 • 背比べのようにして立てて比べよう。 • 見ただけでは比べられないな。ちゃんと調べるにはどうしたらよいかな。 ▲見ただけで分かるよ。すぐに答えが出たよ。 【かさのクイズを解く】 • 形が似ているし、高さも同じだけど、本当にジュースは同じくらい入るかな? • 移し替えて調べてみないと分からしないな。 ▲移し替えてみたけれど、入れ物が違うからどうしよう。 【広さのクイズを解く】 • 端をそろえて比べるといいね。 • 重ねてみても分からぬるものもあるよ。他に方法はないかな。 ▲ハンカチはみんな同じ大きさじゃない？見てすぐに分かったよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 比べるときの数学的な見方・考え方を共有できるように、生活の中で比べている場面を捉え掲示しておく。 直接比較、間接比較や任意単位による比較など、数学的な見方・考え方を引き出すことができるよう、クイズに難易度を付けて提示する。 <p>○子どもたちが経験している比べる活動を想起できるように、具体物を用意したり実際に試したりできるようなコーナーを設ける。</p> <p>○比べるときの子どもたちの数学的な見方・考え方を共有できるように、どちらが大きいか（小さいか）答えを出すだけでなく、どうやって比べたのか、どこを比べたのかを説明するシートも作るように助言する。</p> <p>○自分で作ってみたいという主体性を大切にできるように、クイズをいくつか解いた後に自分でクイズと説明シートを作ってもいいことを伝える。</p>
15分	<p>④ 今日の学習で見付けたさんすうたんけんたい「すばーくる」を振り返りまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> • 端を揃えて比べるよ。 • 重ねて比べると分かりやすいよ。 • 窓の横と縦は、テープを使うとよいよ。 </div> <p>〈予想される子どもの反応〉 • クイズを解くのは、簡単だったけれども、説明シートが難しかったな。 • 鉛筆のクイズはできたけれども、窓のクイズが難しかった。 • 一人では難しかったけれども、友達一緒にやつたらできたよ。 • 自分でクイズを作りたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な見方・考え方を蓄積できるように1時間の学習の最後に「今日のすばーくる（キラリ）」を振り返る時間を設定し、 ☆いつでも使える ☆前の学習につながっていた ☆新たに見付けた学び ☆困ったことなど、振り返る視点を提示する。 <p>○子どもたちが見付けた比べ方を、視覚的に捉えて全体で共有できるように活動の様子を写真に撮り、紹介しながら振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 身の回りのものの特徴の中で比べたい量（長さ、かさ、広さ）に着目し、直接比べたり、間接的に比べたり、ある大きさを単位としていくつ分かで表すなど、比べ方を考えている。 〈イ、ウ、C-18〉 (活動の様子、振り返り) </div>

令和7年度 算数科実践・研究計画

部 員 ○伊藤智美、猿田千穂子、佐藤咲紀

1 昨年度の成果と課題

昨年度の実践を通して、意欲をもって学習を進めたり、主体的に自分の問題解決方法を表現したりする姿が見えてきた。

① 4年「角の大きさ」では、身の回りにあるいろいろな角度を探す中で、他の人が気付いていないものを見付けようと、角度探索に没頭していた。自分で見付けた角度を分度器を用いて実際に測定していく中で、自分が測定した角度の外側も角度と言ってよいのか友達に相談したり、測定するにはどうしたらよいか実際に手を動かしたりしながら、生活経験から見いだした問いを算数に結び付けようと奮闘していた。しかし、子どもの学びが教師を介して子どもに戻る場面が多くなり、再び個の学びを深めていく姿を十分に見ることができなかつた。集団で学んだ事を受け個の学びを見つめ直すための手立ての必要性を感じた。

② 6年「比例と反比例」では、日常の中にある比例の場面を見付けたり、既習の学習を発展させるにはどうしたらよいかを考えたりした。興味・関心に沿って比例する2つの数量の関係について考えた。子どもたちは、身近な問題場面である水のかさ、画用紙、面積、速さ、長さなどについて場面を選択し、個々の学習計画に沿って問題を解きながら、既習事項に戻って考えたり、個やペア、グループで問題解決をしていく姿が見られた。

③ 2年「1を分けて～分けた大きさの表し方は？～」では、子どもたちが日常的に「半分」や「 $1/2$ 」という言葉を用いたり、折り紙を半分に折ったり、食べ物を人数分に分けたりする経験を、算数の学習と結び付けて考えた。1枚のチョコレートを1人分が同じになるように分け方を考える問題場面を作成し、九九を使って答えが12になる式を作ったり、チョコレートの紙を切って分けたりして、既習事項の活用や身近な具体物を操作する活動を通して課題解決をする姿が見られた。さらに、課題解決方法への理解を深めるために、自分の作成した問題を解決することが難しい子どもに対して、他の問題場面を通してそれを理解し、自分の課題解決につなげていく手立てがあるとよいと感じた。

こうした成果と課題を踏まえ、算数科部は、自律した学習者の姿を次のように捉える。また、自律した学習者が育つ授業デザインの具体的な取組を次のように設定する。

2 算数科における自律した学習者の姿

- ① 生活の中から生まれた問い合わせや、既習事項を発展させた問い合わせから、自分で課題を見いだし、算数に結び付けて考える姿
- ② 自分で設定した課題に対して、自分に合った学習形態や解決方法を自ら選択しながら学び進める姿
- ③ 問題を解く過程や結果を表現し伝え合う数学的活動を通して、個と集団での学びをつなぎ、個の学びを深めていく姿

3 授業デザインの具体的な取組

- 個々の学びと協働的な学びに往還が生まれるような他者の学びを共有する場面を設ける。
- 課題解決の幅が広がるよう授業を展開し、子どもたちに学びを委ねる時間を確保する。
- 獲得した新しい知識や方法などを次の学習や生活の中で活用できるよう、見通しをもったり、学びを共有したりする場を導入に設ける。

令和7年度 「算数科の資質・能力」表

※□は、資質・能力の取り扱い学年、■は、定着学年を示す。

内容			学習指導要領との関連内容	1年	2年	3年	4年	5年	6年
算数科の学びに向かう力、人間性等	ア	算数・数学的事実を自ら発見し、調べようとする。	全般	□	■	■	■	■	■
	イ	具体物や具体的な操作活動から、解決方法を見いだそうとする。	全般	□	■	■	■	■	■
	ウ	既習の知識をもとに、結び付けて考え、活用しようとする。	全般	□	■	■	■	■	■

A 数と計算	1	ものとものとを対応させることによって個数を比べる。	A(3)①	■	■	■	■	■	■
	2	個数や順番を正しく数えたり表したりする。	A(3)①	■	■	■	■	■	■
	3	一つの数をほかの数の和や差としてみる。	A(3)①	□	□	□	■	■	■
	4	十進位取り記数法によって数を表す。	A(3)①		□	□	■	■	■
	5	十、百、千、万、億、兆などを単位としてみる。	A(3)①		□	□	■	■	■
	6	一つの数をほかの数の積としてみる。	A(3)①		□	□	■	■	■
	7	観点を決めて、整数を類別する。	A(3)①					■	■
	8	数の構成について考察する。	A(3)①					■	■
	9	数の相対的な大きさを考察する。	A(3)①		□	□	□	■	■
	10	目的に応じて概数で表す。	A(3)①				■	■	■
	11	ある大きさのものを等分したもの分数で表す。	A(3)①		■	■	■	■	■
	12	小数を1/10のいくつ分で表す。	A(3)①		■	■	■	■	■
	13	分数を単位分数のいくつかで表す。	A(3)①		■	■	■	■	■
	14	小数が十進位取り記数法によって表されていることを理解する。	A(3)①				■	■	■
	15	分数の大きさについて理解する。	A(3)①		□	■	■	■	■
	16	真分数、仮分数、帯分数について理解する。	A(3)①			□	■	■	■
	17	整数の除法の結果を分数で表す。	A(3)①					■	■
	18	分数を小数で表す。	A(3)①					■	■
	19	加法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②	□	□	□	■	■	■

20	加法の意味を理解する。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
21	加法の計算をする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
22	減法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
23	減法の意味を理解する。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
24	減法の計算をする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
25	乗法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
26	乗法の意味を理解する。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
27	乗法の計算をする。	A(3)②		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
28	除法について計算の意味と計算の仕方を考える。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
29	除法の意味を理解する。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
30	除法の計算をする。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
31	四則の混合した式を計算する。	A(3)②				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
32	既習の知識を利用して、いろいろな方法で計算結果の確かめをする。	A(3)②	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
33	様々な事象の中から法則性を見いだし、交換法則・結合法則・分配法則などを場合に応じて活用する。	A(3)②			<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
34	数量の関係に着目し、加法及び減法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
35	数量の関係に着目し、乗法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
36	数量の関係に着目し、除法が用いられる場面を式に表したり式を読み取ったりする。	A(3)③		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
37	数量の関係に着目し、数量の関係を文字を用いて表現したり式の意味を読み取ったりする。	A(3)③		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
38	数を日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
39	四則計算を日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
40	概数や四則計算の見積もりを日常生活の場面に応じて活用する。	A(3)④				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
41	既習を適用する。	A(3)①～④	<input checked="" type="checkbox"/>						
算数科の各領域 の付けたい力 B 図形	1 形の特徴をとらえて、ものを弁別する。	B(3)①	<input checked="" type="checkbox"/>						
	2 図形の構成要素をもとに、図形の性質について考察し分類する。	B(3)①		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3 図形の構成要素の関係をもとに、図形の性質について考察し分類する。	B(3)①				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	4 角の数量的な関係をとらえる。	B(3)①				<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

	5 道具を用いて、図形を構成したり、作図したりする。	B(3)②	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	6 図形間の関係をもとに、図形の構成の仕方をとらえる。	B(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7 立体図形を見取り図や展開図で表したり、見取り図や展開図をもとに、立体図形を構成したりする。	B(3)②					<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	8 図形のもつ美しさに気付く。	B(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	9 図形の性質を生かしてデザインする。	B(3)④		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
	10 図形の構成要素の大きさを数値化する。	B(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	11 面積や体積の求め方を考え、計算によって求める。	B(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	12 図形のもつ機能的な側面を日常生活の場面に応じて活用する。	B(3)④	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	13 図形の性質を活用し、測量を行う。	B(3)④			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	14 平面や空間における位置を特定し、表現する。	B(3)④	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>					
	15 既習を適用する。	B(3)①～④	<input checked="" type="checkbox"/>						
算数科の各領域 の付けたい力 C 測定	1 直接比較や間接比較により、量の大小判断をする。	C(3)①	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	2 任意単位を用いて、量を数値に置き換えて比較する。	C(3)①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	3 ある量を基準として別の量の大きさを表す。	C(3)①	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>				
	4 測る物に応じて適切な計器を用い、正確に測定する。	C(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	5 適切な単位を用いて、量を表したり、比較したりする。	C(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	6 量の分割や移動による保存性や普遍性に気付く。	C(3)②		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	7 日常生活の中で時刻を読む。	C(3)②	<input checked="" type="checkbox"/>						
	8 時間の単位(日、時、分、秒)とそれらの関係をとらえる。	C(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	9 時刻や時間の計算をする。	C(3)②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	10 長さ、重さ、かさの単位間の関係を統合的にとらえる。	C(3)③	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	11 量の大きさの見当をつけ、それを実際の場面で活用する。	C(3)④		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	12 量や計器を目的に応じて適切に選ぶよさに気付き、進んで生活に活用する。	C(3)④		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	13 伴って変わる二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて表現する。	C(3)①					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	14 伴って変わる二つの数量の変化や対応の特徴を見いだす。	C(3)①					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	15 二つの数量の関係と別の二つの数量との関係を割合を用いて比べる。	C(3)②				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

	16	割合や比を用いて数量の関係を比べたり、知りたい数量の大きさを求めたりする。	C(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■
	17	伴って変わる2つの数量の変化や対応の特徴を考察し、見いだした規則性などを日常生活の場面に応じて活用する。	C(3)③					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■
	18	既習を適用する。	C(3)①～④	■	■	■	■	■	■	■
算数科の各領域 の付けたい力 D データの活用	1	統計的に解決可能な問題を設定する。	D(3)①			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■	■	■
	2	目的に応じてデータの集め方を考え、データを集める。	D(3)①				<input type="checkbox"/>	■	■	■
	3	データを分類整理し、特徴をとらえる。	D(3)①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■	■	■	■
	4	目的やデータの種類に応じて表やグラフに表す。	D(3)①		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■	
	5	表やグラフから見いだした特徴や傾向から問題に対する結論をまとめて表現したり、さらなる課題や改善点を見いだしたりする。	D(3)①					<input type="checkbox"/>	■	
	6	代表値の求め方や意味を理解し、適切に用いる。	D(3)①					<input type="checkbox"/>	■	
	7	事象の起こりやすさについて考察する。	D(3)①		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■	
	8	起こり得る場合について落ちや重なりがないように調べる。	D(3)①							■
	9	結論について多面的・批判的に考察する。	D(3)②					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	■
	10	既習を適用する。	D(3)①②	■	■	■	■	■	■	■

〈算数科の学びを支える「見方・考え方」〉

- a 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ、基礎的・基本的な概念や性質などを理解しそれらを用いて説明する。
- b 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ、具体的な操作活動をもとに説明する。
- c 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ、数学的な表現を用いて説明する。
- d 事象を数量や図形およびそれらの関係などに着目してとらえ、筋道を立てて論理的に説明する。

〈領域の学びを深める「見方・考え方」〉

- | | | |
|--------|---|---|
| 数と計算 | e | 数の表し方の仕組み、数量の関係や問題場面の数量の関係などに着目してとらえ、根拠をもとに筋道を立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすること。 |
| 図形 | f | 図形を構成する要素、それらの位置関係や図形間の関係などに着目してとらえ、根拠をもとに筋道を立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすること。 |
| 測定 | g | 身の回りにあるものの特徴などに着目してとらえ、根拠をもとに筋道を立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすること。 |
| データの活用 | h | 日常生活の問題解決のために、データの特徴や傾向などに着目してとらえ、根拠をもとに筋道を立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすること。 |